

## 令和5年度 シラバス 地理総合（2年）

1, 学習目標:現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2, 評価方法:①知識・技能…定期(中間・期末)テスト、単元テスト

②思考・判断・表現…定期(中間・期末)テスト、課題レポート

③主体的に学習に取り組む態度…授業態度、提出物(プリント、ノート)など

3. 注意事項:授業には積極的に参加する。ワークシートに取り組む場合は、その時間に提出する。

4. 使用教科書・教材

①教科書:帝国書院「高校生の地理総合」 ②ノート:帝国書院「高校生の地理総合ノート」

5, 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したこと効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めている。